

池田家文庫絵図展 日本と「異国」

徳川幕府の鎖国政策のために、江戸時代の人々が知ることのできる「異国」、海外の情報は非常に少なく、自国の地図も正確なものを眼にする機会は限られていました。近世の人々はどのように異国のことを見ていたのでしょうか。今回の展覧会では絵図約 2400 点を含む、池田家文庫の歴史資料の中から、「地球全図」(1792)「官許新刊輿地全図」(1861)といった絵図類に加え、朝鮮通信使の接待に関する岡山藩の記録や、漂流して帰国した人々の記録など、当時の「異国」事情をご紹介します。

*岡山市と岡山大学は平成 17 年 2 月 25 日付けで文化事業協力協定書および覚書を交わし、互いに連携して、池田家文庫絵図を核とする貴重資料のデジタル化や学校教育・社会教育の場での活用を図ってきました。そうした取組みの一環として平成 17 年度から、池田家文庫中の歴史資料の実物を多くの人に見ていただくために協働して「池田家文庫絵図展」を開催しており、今年度で 4 回目となります。

- 展覧会名 : 池田家文庫絵図展 日本と「異国」

- 開催日時 : 2008 年 11 月 1 日(土)～11 月 16 日(日)
10 時～18 時 (入館は 17 時 30 分まで)
※ 休館日 11 月 4 日(火)、11 月 10 日(月)

- 開催場所 : 岡山市デジタルミュージアム (岡山市駅元町 15-1) 4 階企画展示室

- 主催 : 岡山大学附属図書館、岡山市デジタルミュージアム

- 後援 : 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会

- 入場料 : 無料

- 記念講演会 : 『「鎖国」の中の日本と朝鮮』
日時 2008 年 11 月 1 日(土) 14 時～16 時
場所 岡山市デジタルミュージアム 4 階講義室
講師 名古屋大学文学部 教授 池内 敏 先生
備考 聴講無料、先着 80 名まで、予約不要

内 容

文政 2 年(1819)に朝鮮半島西部に一艘の薩摩船が漂着しました。この一行 25 人のなかに薩摩武士 3 人が含まれており、彼らは朝鮮人官僚と多くの筆談をし、詩文贈答をします。この時の漂流の記録には多くの挿絵があり、当時の朝鮮風俗をうかがえるものも少なくありません。「鎖国」の時代の知られざる日朝文化交流のひとつです。

しかし異文化交流は常に相互理解をとまなうとは限りません。この事件を主な素材に、当事の人々の誤解と理解のさまざまな姿を、そして「鎖国」の中の日本と朝鮮についてお話していただきます。

<問い合わせ先>

岡山市デジタルミュージアム

TEL (086)-898-3000

岡山大学附属図書館 (担当: 参考調査係)

TEL (086)-251-7322 FAX (086)-254-6152 E-mail fbg7322@adm.okayama-u.ac.jp